

【肺がん市民公開講座】
 もっと知ってほしい「肺がん」のこと 2013
 ～肺がんにかかっても「自分らしく」過ごすために～
 アンケート結果の報告

2013年9月7日（土）、ユニコムプラザさがみはらセミナールームにて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。131名の方にお申し込み頂き、当日は149名の方が参加され、うち、84名の方からご意見を頂きました（回収率56.4%）。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載し紹介しています。但し、掲載が不適切と考えられる数件のコメントについては、割愛させて頂いております事、ご了承下さい。

（1）今回のセミナーはどのような媒体でお知りになりましたか？

① CNJのホームページ（ブログ）などのイベント告知	6.0%
② 胸部腫瘍臨床研究機構のホームページ内イベント告知	2.4%
③ Twitter facebook等のSNS（RT, シェアを含む）	2.4%
④ キャンサーチャンネルのイベント告知	1.2%
⑤ CNJ以外の患者会・支援団体からのお知らせ	1.2%
⑥ 友人・知人に誘われて	10.7%
⑦ 新聞・雑誌などマスメディアの告知	14.3%
⑧ 病院でのポスター告知など	42.9%
⑨ その他（家族から・患者さんから・患者会等）	38.9%
無記入	2.4%

（2）あなたのお立場に○印をお願いします。

① 患者	26.2%
② 患者の家族・友人	38.1%
③ 医療関係者（医師）	2.4%
（看護師）	10.7%
（薬剤師）	1.2%
（その他・OT・PT・ソーシャルワーカー等）	9.5%
④ プレス関係	0.0%
⑤ その他（介護専門員・医療サービス従事者・一般等）	9.5%

無記入	2.4%
-----	------

(3) プログラムに関するご感想を教えてください。

■ 講演：細見 幸生 氏 「抗がん剤点滴治療：通院化学療法と新しい抗がん剤」

① 大変参考になった	41.7%
② 参考になった	51.2%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	1.2%
無記入	6.0%

■ 講演：井川 聡 氏 「抗がん剤内服治療：内服抗がん剤と分子標的薬」

① 大変参考になった	54.8%
② 参考になった	40.5%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	1.2%
無記入	3.6%

■ 講演：横山 太郎 氏 「抗がん剤以外の治療：症状緩和と支持療法」

① 大変参考になった	39.3%
② 参考になった	48.8%
③ 参考にならなかった	1.2%
④ どちらとも言えない	4.8%
無記入	6.0%

■ 講演：得 みさえ 氏 「生活・仕事で悩んだら」

① 大変参考になった	46.4%
② 参考になった	46.4%
③ 参考にならなかった	1.2%
④ どちらとも言えない	2.4%
無記入	3.6%

■ 講演：芳賀 みゆき 氏 「孤独感に苛まれたら」

① 大変参考になった	65.5%
② 参考になった	28.6%
③ 参考にならなかった	1.2%
④ どちらとも言えない	0.0%
無記入	4.8%

■ 講演：山田 一彦 氏 「免疫チェックポイント治療」

① 大変参考になった	54.8%
② 参考になった	33.3%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	3.6%
無記入	8.3%

■ パネルディスカッション「自分らしい生活と肺がん治療の両立のために必要なこと」

① 大変参考になった	35.7%
② 参考になった	28.6%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	1.2%
無記入	34.5%

(4) 治療に関する情報はどのような媒体で入手しましたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような媒体で入手すると思いますか？（複数回答可）

① 書籍	54	64.3%
② インターネット	58	69.0%
③ 同じ病気の患者	18	21.4%
④ がん患者会	9	10.7%
⑤ 患者団体・患者支援団体	2	2.4%
⑥ 病院の相談窓口	18	21.4%
⑦ NPO などの相談窓口	2	2.4%
⑧ その他（主治医・薬剤師等）	6	7.1%
無記入	0	0.0%

(5) 治療を受けるにあたって、どのような情報が必要でしたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような情報が必要だと思いますか？（複数回答可）

① 施設情報（病院など）	36	42.9%
② 医師情報（専門医など）	45	53.6%
③ 治療法の情報	68	81.0%
④ 薬剤に関する情報	41	48.8%
⑤ 治療以外（心の問題など）の相談窓口	28	33.3%
⑥ 医療費に関する情報	29	34.5%
⑦ その他（生存期間、社会復帰時期・検査のやり方等）	2	2.4%
無記入	7	8.3%

(6) がん対策を進める上で、どの領域がもっと重要だと思いますか？

① がんの予防の推進	7.1%
② がんの検診の推進	9.5%
③ がん治療（研究）の推進	25.0%
④ 治療後の社会的支援	11.7%
⑤ その他（医師との疎通・たばこの危険性・全部等）	9.5%
無記・無効・複数	36.9%

(7) がん治療をよくする上で、患者(患者会・支援団体)の役割は重要だと思いますか？

① 強く思う	58.3%
② 思う	34.5%
③ 思わない	0.0%
④ どちらとも言えない	3.6%
無記・無効・複数	3.6%

(8) もっとも、キャンサーネットジャパンに期待する活動は何ですか？

① がん患者（家族）向けセミナー・イベントなど	34.5%
② がん患者（家族）向け教育プログラムなど	15.5%
③ がん患者（家族）を含めた一般の人へのがん疾患啓発事業	14.3%
④ 体験者同士のピアサポートプログラムなど	3.6%
⑤ がん医療政策提言などのロビー活動	6.0%
その他（全て）	1.2%
無記・無効・複数	25.0%

～その他、セミナーに参加してのご感想・ご意見等～

【患者】

- ・肺がんの全貌を把握出来て有効でした。今後の治療に役立たせて参ります。本当にありがとうございました。
- ・支援センターのパネル（画面）うすい色に白抜き文字はたいへん見にくいです。
- ・がん患者本人の体験談が参考になったので、増やしてほしい。がん患者には理解できる内容であったが、そうでない人には難しい内容だと思った。時間が必ずオーバーするので余裕を取ってほしい。（各自の持ち時間が短い。）
- ・多くの地域より、貴重な意見をいただき、ありがとうございました。良い情報がありました。
- ・がんに関する詳細なことが良く説明して頂き、とても参考になりました。がんとは？知らないことばかりで病院、医師からの説明だけしかわからなかったのもとても参考になりました。治療も日々進歩している状況を知りました。がんになっても希望を持ち、

人間らしく自分らしく生きて行こうと思いました。私は幸いにもⅠステージで手術（6/6）し、その後異常もなく今通院しています。（北里大学呼吸器外科内藤先生に受診中です。）

- 肺がんサバイバーは貴重な存在だと思っています。今、治療中の方々のサポートや、予防に関わるためのピアサポーターになれないと検討したところ、私にはハードルが高く断念したところです。できれば、もう少し対応策を考えて頂けたらと思っています。例えば、がん患者の SNS をキャンサーネットジャパンが立ち上げることは出来ないでしょうか。顔はわからずともサロンの、と思います。思いつきの一言ですみません。
- がんサロンの存在がわかり、参加してみようと思いました。免疫チェックポイントのことがわかり、希望が持てました。
- とても参考になりました。
- これからもずっと出席したいです。地方でも開講している講座にも旅行だけだとむなしですが勉強しながら旅行できるので、生きているかぎり動けるかぎり行きたいです。ちなみに今月の北海道は2人で出席です。インターネット出来ません。ぜひチラシやパンフレットを送って頂けますか。

【患者の家族・友人】

- 軽度認知症になり、自己決定は出来ない。決定は家族に依存している。主治医（ワンポイント放射をする）とセカンドオピニオン（外科医、高齢のためがんの発育が遅いとこの事でオペを断られた）との意見が違うので迷う。
- このような機会を設定して頂きありがとうございます。患者の方のお話があったのも、とても参考になりました。肺がんの方、家族として最終的な病状、ケア、苦しみについて避けて通れないところを、もう少し知りたいと思います。
- 色々な話が聞けて勉強になりました。
- タイムテーブルの見直しが必要なのは。
- 最先端の治療を広く具体的に伺え、またサポートの方々、後経験者のお話、（心が痛かったです）と、大変心に残るセミナーでございました。ありがとうございました。またこういうチャンスがあるとうれしいです。
- 以前肺がんはオペを思っていましたのに抗がん剤、点滴、内服治療で治ることを知り安心しました。外科治療のことも知りたかった。愛情を持って接しているドクターに感謝です。
- 本日は大変勉強になりました。ありがとうございました、今後もこのような充実したセミナーの開催に期待しております。
- 肺がんの治療について、抗がん剤だけでなく分子標的薬や免疫療法など、様々な療法の話を聞く事が出来、とても参加して勉強になったと思っています。また、芳賀さんの話がとても聞き易く、患者である母のことを思いうかべながら聞いていました。できれば先生方のパウポの資料（レジュメなど）いただけたら更にうれしいと感じました。メモが間に合わなかったもので。
- 初めて今日の市民公開講座に参加、医師からの講演から生活へサポートに連続して理解

する事が出来、家族として“コツ”が何となくつかめた様に思います。ありがとうございます。

- 大変有意義、有難い公開講座と思います。強いて言えば主催者側も講座の対象の絞り込みに苦労すると思いますが、医療従事者ではなく、一般の患者または家族を対象に講座のトークの中身・専門性を考えて頂きたかった。(講師によっては心得た内容、説明の仕方をして頂いた人もいました。)
- いろいろなことを勉強させていただき、ありがとうございました。
- ディスカッションでは、質問に各先生方のご意見を聞くことができて良かったです。
- なかなか、まだまだがん患者さんが認識されていないと思います。就労支援が一番の薬だと思います。人は何か役割があるのは、自分が活かされていると思います。
- 他の部位のがんについても講演。

【医療関係者】

医師

- 患者さんや家族にとって、より新しい治療の情報を専門医からわかりやすく説明いただける事は、大変重要なのだと感じました。セカンドオピニオンと同じような役割です。ありがとうございます。

看護師

- 手元にパワーポイントの資料があると、あとで見る事もできて良かったと思います。
- 肺がん以外の方も聞ける有用な会だと思えます。さらに一歩進んだ情報がほしい、という場合に質問できる窓口や連絡先(講師の先生など)があると良いと思いました。ありがとうございました。
- 少し難しい内容もありました。
- 免疫チェックポイント治療はわかりやすかった。患者さんの知識が最近様々なので、患者さんと相談していくことが大変だった。とてもわかりやすかった。

その他

- 薬などの治療の話は難しかったが、体験者の方の話などは貴重な話だったと思います。

無記入

- 特別講演の免疫チェックポイント治療は興味深く拝聴いたしました。日本でも早く臨床試験を実施し、承認され治療の選択肢に加えられる様になることを望んでおります。
- 実際にがんになられた方のお話をきいて、もし万一なっても強く生きられるような気持ちになりました。

【その他】

- 抗がん①②③スライド順に資料あればより効果的に学習する事が出来ると思った。講演①②特別講演に資料があった方が良かったと思った。講演内容は一般向けにもう少しわかり

やすい方が良かった。

- とても難しい話も沢山でしたが家族としての“捉え方”、免疫力のこと。ともかくめざましい進歩のこの世界に期待し、これからもこういう企画をどんどん開いて欲しいです。副作用の覚悟の事も改めて感じました。
- 患者会や今回のセミナー等で、がん治療をしながら生活をしている患者やその家族が情報を共有することによって、より力強く生活出来るようになればうれしいので、今後もプログラム内容を含めて模索して頂き、開催して頂きたい。本日は勉強になりました。ありがとうございました。